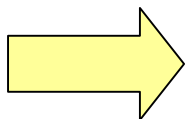


特殊用途PIの割り当てサービス提供の検討状況

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター
IP事業部 鈴木由佳

背景(1)

- 2001年12月 JPOPM
 - 初回割り振り基準の変更の提案
 - 直後に/22を使うことを証明でき、1年以内に/21を使うことを証明できること
 - 小規模マルチホーム用PIアドレスの割り当て取次ぎサービス提供検討状況について報告
 - JPNICが検討していたサービス概要紹介
 - 参加者からはサービス提供希望の声



取次ぎサービスを提供する方向で検討開始

参考：提案した内容

- PI割り当ての審議をJPNICが行う
 - ⇒JPNICが行うため日本語で対応が可能
- ただしそれ以外の手続きについては、申請者が直接APNICに対し行う
 - 発生する費用の入金
 - アカウムの申請
 - DNSの逆引き登録

懸念事項

- 取次ぎサービスのニーズがあるか
- APNICからの課金金額
 - 非会員 \$8,192
- JPNICのサポート範囲
 - 割り当て時のサポートのみ？

サービスを提供するにあたって(1)

- 検討課題
 - 取次ぎサービスの必要性
 - 申請者側手続き先: JPNIC or APNIC
 - 課金 : 割り当て手数料、維持料
(\$支払)
 - アドレス管理 : DBの登録、更新の認証

サービスを提供するにあたって(2)

- 利用してもらえるサービス
 - 申請側の手続きの利便性
 - すべて同じ窓口(JPNIC)、日本語で
 - 諸費用の支払
 - 日本円で支払可能
- 現在提供中のサービス等への影響を最低限に

検討中の特殊用途PI割り当てサー ビスの紹介

サービス概要案(1)

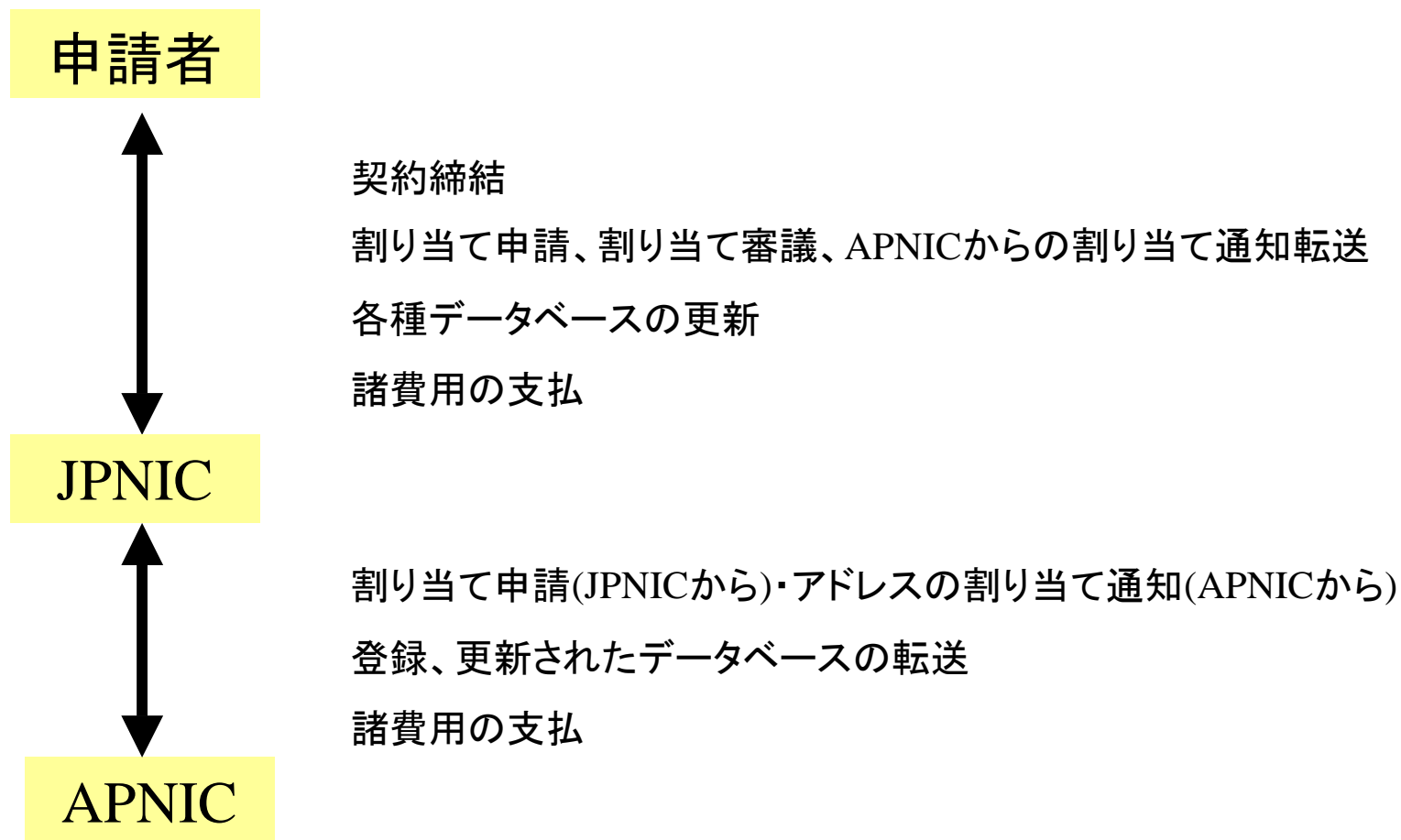
- 以下の3種の用途のPIアドレスの割り当てサービスを提供
 - Multihoming
 - マルチホーム(小規模)を希望する組織への割り当て
 - Internet Exchange Points
 - IXPのトランジットLAN用の割り当てを希望する組織への割り当て
 - Critical infrastructure
 - rootDNS,ccTLD,gTLD等のクリティカルインフラストラクチャーのネットワークを運用する組織への割り当て
- 対象
 - 3種類の用途に用いるPIアドレス割り当てを希望する組織

サービス概要案(2)

- 割り当て先とJPNICは割り当てアドレスの利用に関して取り決めた内容で契約を行なう
- 各種申請手続きの申請先はJPNIC
 - 割り当て申請(DNS含む)、情報更新
 - 割り当て申請の審議は日本語
- PIアドレスはAPNICのアドレスプールから直接払い出し
- 諸費用はJPNICへ支払い(金額はJPNICにて決定)

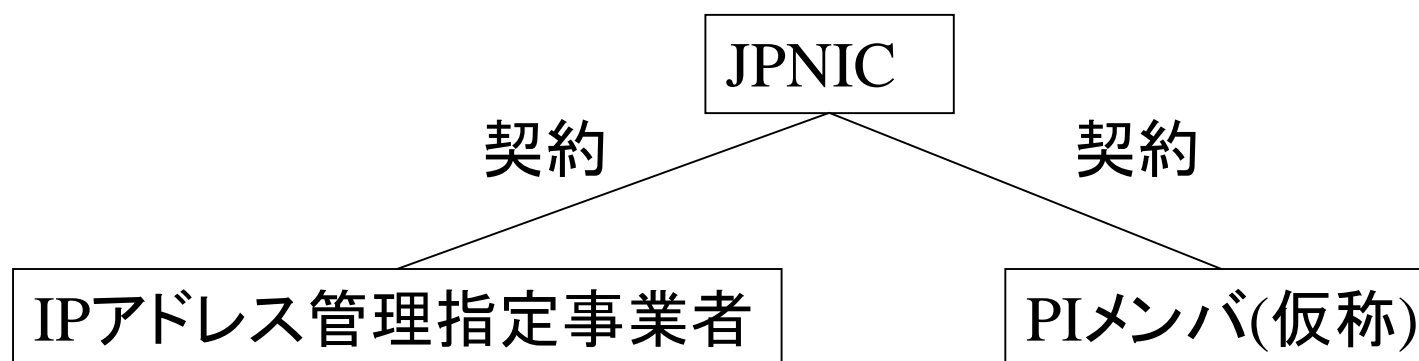
申請にかかわる各種手続きは、申請者はすべてJPNICとなる
具体的な手続き方法、課金金額については、JPNICで決定する

サービス概要案(3)



サービス概要案(4)

- 特殊用途PIアドレス割り当て専用のメンバカテゴリを作成
 - IPアドレス管理指定事業者とは別
 - 既存サービスへの影響を最小限に



指定事業者とPIメンバ(仮称)の違い

	契約締結	割り振り・割り当て	申請先	料金の支払	DNS
IP指定事業者	必要	割り振り・割り当て	JPNIC	JPNIC	APNIC(*)
PIメンバ(仮称)	必要	割り当てを 受けるのみ	JPNIC	JPNIC	APNIC

(*)共有プールモデル実施後の割り振りが対象となります。

今後・・・

- 契約書・手続き文書の整備
- システムの対応
- 課金金額の検討・・・



実装までには時間が必要
早くても、2004年以降?



参考：割り当ての条件

- Multihoming
 - 現在既にマルチホーミングを行っているか、1ヶ月以内にマルチホームをすることを証明できること
 - 現在割り当てられているアドレスをリナンバすること合意できること
 - 割り当て直後に割り当てた空間の25%以上、1年後に50%を使用することができることを証明しなければならない
 - 現在では、最小割り当てサイズは決められていない

参考：割り当ての条件

- Internet Exchange Points
 - IXPのトランジットLAN用の割り当てを希望する組織への割り当て
 - 割り当てられたアドレスは、グローバルインターネットに経路をアナウンスを行ってはいけない
 - 割り当てサイズは/24

参考：割り当ての条件

- Critical infrastructure
 - 以下のクリティカルインフラストラクチャーを運用する組織が割り当てを受けることができる
 - root domain name system (DNS) server
 - global top level domain (gTLD) nameservers
 - country code TLD (ccTLDs) nameservers
 - IANA
 - Regional Internet Registry (RIRs)
 - National Internet Registry (NIRs)
 - 割り当てを受けることができる組織は、実際にこれらのネットワークの運用を行っている組織のみ
 - 割り当てサイズは/24